

学力・進路保障

④ 問題の解決に向けた展望を見出す力

③ 現状や問題を認識する力

② 差別的言動を批判的に捉えられる力

① 問題の解決を自分の課題として捉える力

小学校低学年

◆自分と友だちの大切さを実感し、互いを大切にでき、地域が好きなお子

小学校中学年

◆互いのちがいを「ありのまま」認め合い、身の周りの問題を共に考え、地域を大切にできる子ども

小学校高学年

◆互いの思いを共感的に受けとめ、支え合い、身の周りの問題の解決に向けて共に行動できる子ども

中学校1年生

◆新しい仲間と自分を大切な存在として認め合い、人権問題の解決を自分たちの課題として捉えられる子ども

中学校2年生

◆互いの個性を尊重し、身の周りや社会にある不合理や偏見・差別を見抜き、その解決に向けて共に行動できる子ども

中学校3年生

◆互いの個性を發揮して可能性を高め合い、人権問題の解決に向けて主体的に行動できる子ども

・自分と身近な人とのかかわりを見つめ、「自分が大切にされている」ことを実感し、自分の大切さに気づける。
・自分と同じように、周りの友だちも大切な存在であることがわかる。
・自分と友だちの「よさ」や「ちがい」に気づき、認められる。

・互いの感じ方や得意不得意等の「ちがい」を、肯定的に「ありのまま」認め合える。
・友だちの不安や困っていることを、その立場になって考えられる。
・身の周りや社会にある不合理な問題に気づき、自分たちの問題として考え合える。

・互いの不安や困っていることを、共感的に受けとめ、支え合える。
・差別と闘い、たくましく生き抜いてきた人々の生き方に学び、人権問題の解決を自分たちの課題として捉えられる。
・身の周りや社会にある不合理や偏見・差別に気づき、その解決に向けて共に行動できる。

・新しいなかまの「よさ」や「ちがい」を理解し、個性として認め合える。
・自分を大切な存在として認め合い、互いの不安や悩みを、共感的に受けとめられる。
・地域や社会に対する関心を高め、身の周りや社会にある不合理な問題が人権問題につながることに気づき、その解決を自分たちの課題として捉えられる。

・互いの個性を肯定的に「ありのまま」認め合い、尊重できる。
・互いの不安や悩み等の生きづらさを共感的に受けとめ、支え合える。
・身の周りや社会にある不合理や偏見・差別を見抜き、その解決に向けて共に行動できる。

・互いの個性を發揮して、可能性を高め合える。
・互いの不安や悩み等の生きづらさに気づき、自分たちの課題として捉え、その解決に向けて共に行動できる。
・人権問題を解決する主体者としての意識を高め、差別のない学校・地域づくりに向けて行動できる。

具体的な取組

1. めざすなかまづくりの共有〈学級開き 等〉 2. 子どもが主体となった目標づくり〈学級目標、学級の安心ルール（小学校3年生以上）〉 3. 語る・書く活動〈スピーチ、日記 等〉 4. 語れる場づくり〈学活、人権学習、フォーラム 等〉 5. 自主性・自治を大切にする班活動〈小中：生活班、学習班 小：縦割り班〉 6. 実践・行動につなげる行事〈人権集会 等〉

人権学習					
『みんなのひろば（低中学年）』 自分を見つめる 1「自分の気持ち みんなの気持ち」【知】① 2「やってみよう！ 自分にできること」【備】①④ 3「しょうがいしよう自分の家族」【備・技】① 友だちとの係わりをつくる 6「友だちたんけん」【知】① 7「どうしようかな」【技】①④ 人権問題に会う 11「男女共同参画社会をつくるために」【備】① 12「外国のことを知ろう」【知・備】①	『みんなのひろば（低中学年）』 自分を見つめる 4「実はこれ、ぜんぶ自分なんです！」【知・備】①③ 5「わたしの大切な人」【知】① 人権問題に会う 13「さまざまな工夫で安心・安全」【知・技】① 障がい者の人権 校区のUD	『みんなのひろば（高学年）』 障がい者の人権 6「相手を尊重することから」【知・備】①③ 障がい者の人権 大西唯斗さんとの出会い学習	『みんなのひろば（高学年）』 部落問題 2「全国水平社の創立」【知・備】①③④ 子どもの人権 11「子どもの権利を知ろう」【知】①④	『みらいをひらく』 外国人の人権 「Z国での体験を通して」【備・技】①②③	『みらいをひらく』 性的指向・性自認に係る人権 「性のあり方の多様性について考える」【知・備】①③ 『わたし かがやく』 部落問題 「差別はきつとなくせる」【知・備】①②③④
『みんなのひろば（高学年）』 子どもの人権 10「クラスの安心ルールづくり」【備・技】①③④					
『みんなのひろば（低中学年）』 友だちとの係わりをつくる 9「それって、ほんまに ほんまの ほんまの？」 【技】②③④ 人権問題に会う 14「人に『歴史』あり！」【知】①②	『みんなのひろば（高学年）』 女性の人権 13「女性のイメージ、男性のイメージ」【備】② 部落問題 「ケガレ」っておかし【知・備】②	情報モラル・メディア・リテラシー教育〈DQ教育（1年）、道徳 等〉【知・備】②			
『みんなのひろば（低中学年）』 友だちとの係わりをつくる 10「いじめストップ！ まず自分から！」【備】③④	『みんなのひろば（高学年）』 部落問題 1「差別の中を生きぬいた人々」【知・備】②③ 外国人の人権 6「言葉の壁を乗り越えよう」【知】①③ 女性の人権 14「男女共同参画の大切さ」【知・技】②③④ 性的指向・性自認に係る人権 15 2「言えない理由はないだろう」【備】③ 3「かくさなくてもよい環境づくり」【技】①③④	『みらいをひらく』 子どもの人権 「ちがいのちがい」【備・技】②③ ※既習の内容確認と今後の人権学習の見通し	『みらいをひらく』 女性の人権 「日本は男女平等？」【知】③		
『みんなのひろば（低中学年）』 人権問題に会う 15「人々の願いとまちづくり」【備・技】①③④ 地域の方との出会い学習	『みんなのひろば（高学年）』 部落問題 3「だれも大切にされる世の中に」【備・技】①③④ アイヌ民族の人権 郷土の偉人を知る②～松浦武四郎～【知】④	『みらいをひらく』 障がい者の人権 「障がい者の権利保障のために大切なこと」【知・備】①③④	『みらいをひらく』 部落問題 「職業選択の自由の保障」 ～「統一応募用紙」制定の取組～【知・技】①②③④ 部落問題 「部落差別のない社会の実現」 ～そっとしておいても差別はなくなる～【知・備】③④		
・地域の人とかかわり、地域を知り、地域を「好き」と考える。	・地域の人々の生き方に学び、地域を大切に考える。	・地域や社会の課題等に対する関心を高め、自分たちの生活と結びつけて考えられる。	・地域の産業や人との出会いを通して、自身と社会とかかわりを見つめ、進路を思い描ける。	・自らの生き方を見つめ、進路実現に向けて自身の可能性を高めようとする意欲を持てる。	・自ら進路を切り拓こうとする意欲を高め、互いの進路実現に向けて支え合える。

子どもの自尊感情を育み、学習意欲を高める取組

- 自己の生い立ちやくらし、家族とかかわりを見つめる学習

授業の創意工夫と個別支援の充実

- 考えを引き出し、つなげる（グループ交流、全体交流など）
- 思いを聞きとり、受けとめる（学習前後の個別面談、教育相談など）
- 参加・協力・体験的な学習
- 補充的学習（放課後、長期休業中など）
- ICTを活用した資料提示、意見交流

子どもが安心して学べる学習環境の保障

- 安心ルールづくり

差別を乗り越えたり、困難を克服したりする力の育成

- 人権学習
- 地域に対する愛着を育む「ひと」「もの」「こと」との出会い
- 〈中学校〉
- クラス演劇（3年）

すべての子どもの進路保障につながる取組

- キャリア教育（くらしを支える地域の人や産業との出会い）
- 〈中学校〉
- 進路ノート（全学年）
- 進路学習（2年）…進路展望、学校調べ、志願理由書
- 進路指導（3年）…面接指導、進路相談

自他を大切な存在として認め合い、互いの可能性を高め合い、人権問題の解決に向けて共に行動できる子ども